

安曇野市防災会議 会議概要

1	審議会名	安曇野市防災会議
2	日 時	平成29年9月13日 午後2時00分から午後3時40分まで
3	会 場	安曇野市役所4階 大会議室
4	出席者	上野委員、堤委員代理、吉川委員代理、飯森委員、早川委員、鳥海委員代理、平出委員代理、清水(哲)委員代理、鳥羽委員、内山委員代理、山田委員、高橋委員、佐藤委員、中野委員、半田委員、原委員、北澤委員、山岸委員、猿田委員、曾根原委員
5	市側出席者	宮澤市長、村上副市長、橋渡教育長、堀内(猛)部長、小林部長、千国部長、宮澤部長、花村部長、堀内(伸)部長、大向部長、横山部長、金井部長、山田部長(事務局)古幡課長、飯田課長補佐、手塚課長補佐、小松主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者1人
8	会議概要作成年月日	平成29年9月20日

協 議 事 項 等

◇ 会議の概要

- 1 開会 (危機管理課長)
- 2 会長あいさつ (安曇野市長)
- 3 議事 安曇野市地域防災計画の修正について
- 4 その他
- 5 閉会 (危機管理課長)

◇ 審議概要

◇

1 開会 (午後2時00分)

事務局： 本日は、ご多用中のところ、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから安曇野市防災会議を開催いたします。

申し遅れましたが、私は本日の全体の進行を務めます、安曇野市 総務部 危機管理課長の古幡と申します。こちらが事務局を務めます危機管理課長補佐の飯田でございます。同じく手塚でございます。主査の小松でございます。

それでは、安曇野市防災会議の会長であります、宮澤市長よりご挨拶を申し上げます。

2 会長挨拶

宮澤会長： 皆様、こんにちは。安曇野市防災会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。それぞれ委員の皆様には、大変お忙しい中ご出席を賜りましたこと、心から感謝を申し上げます。また、日ごろから本市の防災・減災対策にご尽力を賜わり、また、安曇野市が合併して12年とまだ若い市ですが、それぞれのお立場で市政運営にもご支援、ご協力を頂いておりますことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。

また、過日、実施いたしました市の総合防災訓練においても、本日ご出席の皆様方をはじめ、それぞれの関係機関の皆様方、また消防団をはじめ区民の多くの皆様方にご参加いただき、見学をされた皆様方とともに、日ごろの練習の成果を拝見することができました。

大変心強く感じたところでございます。こちらのほうに関しまし、改めて御礼を申し上げます。次第でございます。

訓練に参加された地域の皆様、そして、それぞれの関係の皆様のご協力を感じ、大変心強く感じた次第でございます。

また、本年度も、全国各地で地球温暖化の影響なのか、自然災害が猛威を振るっております。

七月に入って、福岡では土砂災害により二千棟以上が全・半壊し、三十人以上もの尊い命が奪われたというニュースも新しいところでございます。

流木に押し流された家、あるいは消防ヘリやボートによる救助の現状、ドローンによる被害状況調査で明らかになってくる被害の全容など、壮絶な被害現場の状況に、他人事とは思えず、わが安曇野市にもいつ大災害が発生するかわからないという危機感も持ったところでございます。亡くなられた皆様方には、心よりお悔やみを申し上げますとともに、改めて復旧・復興の一日も早いことを願うところでございます。

さらに、秋田県においても、二日間の降水量が三〇〇ミリを記録したということでこちらにも家屋が流出するなどの

本市におきましても、豪雨災害に見舞われた場合に、大きな被害が発生することが予想されます。そして、糸魚川・静岡構造線断層帯においても、いつ大地震が発生するかわからないという状況ですが、災害がないことを願うばかりでございます。

市といたしまして、これからも本日お集りの皆様をはじめ、市民の皆様方と避難計画の作成、そして自主防災組織への支援、各種訓練の実施など生命・財産を守るための事業を積極的に進めてまいりたいと考えております。

ぜひとも、委員の方々からも具体的なご提言をいただき、市民と共にこの地域を守っていただきたいと思っております。

年度から、防災会議に新たに「東京電力ホールディングス株式会社」様にご出席をいただくことになりましたのでご紹介をいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

本日の会議では、本市の地域防災計画の修正についてご審議をいただくことになります。それぞれのお立場で、ご意見、ご提言を頂戴できればと思いますので、どうぞ実のある会議となりますようお願いを申し上げ一言ご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

古幡課長： ありがとうございます。それではここで新しく防災会議委員となられた皆様もおりますので、自己紹介をお願いいたします。まずは委嘱させていただいております委員の皆様より、お願いいたします。続いて安曇野市の指名委員よりお願いいたします。
(上野委員から一人ずつ自己紹介を行った。)

3 議事

古幡課長： ありがとうございます。次に本日お配りしました資料の確認をお願いします。二種類お配りしてございます。

まず、本日の会議次第、防災会議出席者名簿、席次表、防災計画修正一覧、防災会議条例を一綴りとしてお配りしております。

もう一つが地域防災計画の修正案新旧対照表を用意してございます。それではただいまより議事に入ります。

議長には安曇野市防災会議条例第3条第2項の規定により会長は市長をもってあて、会長は会務を総理することとなっておりますので会長である市長にお願いしたいと思います。

それでは宮澤市長をお願いします。

宮澤会長： それでは、条例に基づきまして、防災会議の議長を務めさせていただきます。本日の会議内容につきましては、議事録を作成する関係から録音をさせていただきます。発言をされる方は挙手の上、お名前を言っていただき、ご発言をお願いします。それでは会議次第に沿いまして進めてまいります。

次第の3「議題」といたしまして、「安曇野市地域防災計画の修正について」でございます。それでは事務局から内容の説明をさせます。

古幡課長： はい。危機管理課長の古幡です。着座にて失礼いたします。それでは修正事項の概要ということで私から説明申し上げます。なお、新旧対照表に基づいた説明につきましては飯田より説明申し上げますのでよろしくお願ひいたします。今年度の修正内容につきましては基本的には長野県の地域防災計画の修正にかかわるものが主となっております。平成28年度の3月に開催されました長野県防災会議では、修正のポイントといたしまして、水防法の改正また、廃棄物処理法の改正に基づく修正も含めまして水害に強い地域づくりと警戒避難体制の強化、二つ目にボランティアとの連携と共働体制の強化、三つ目に災害廃棄物対策の強化などの項目について審議されております。従いましてそのまま本市の計画修正の項目とさせていただきます。また、市独自には大規模災害発生時における県内外からの広域応援活動の拠点となりうる防災拠点施設の指定と計画を行い、積極的な整備を行うため災害予防計画の章の中に防災拠点整備計画の節を新設することを提案させていただきます。それでは詳細については飯田より説明させていただきます。

飯田補佐： (資料に基づいて説明を行った。)

宮澤会長： ただいま事務局から安曇野市地域防災計画の修正について説明がありました。県の計画に基づきながら実態に合わせた修正ということになりますが、本件につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願ひをいたします。

高橋委員： 新旧対照表の24、25ページのところですが、避難所の確保の実施計画のところにあからタまでいろいろ書いてありますが、避難所における衛生面を考慮して、災害関連疾患や災害関連死を防ぐということだと思いますが、そういう言葉を載せておいたほうがいいと思います。

それから防災拠点整備計画だが、主に物資と支援部隊の集合場所を決めたということだと思うが、そういったことであれば救助救急医療計画にも同じように医療救護の拠点整備計画というものを作ってもらったほうがいいのではないのでしょうか。急性期にDMATは信州大学に来るし、日赤救護班は安曇野赤十字病院を目指してやってきます。

ですから安曇野市内に赤タグ対応病院はこども病院しかないが、一般傷病を扱う病院がない。急病・救急・重傷を扱う病院がないという形になっているが、外部からの支援部隊を投入すれば市内でも十分重要疾患に対応できる体制にできるのではないかとこの風を考えていますし、そのような形で話をさせてもらっているところです。

ですので、医療救護に関しても整備計画を立てていただいて日赤病院・こども病院・穂高病院に医療資源を投入できるような市としての対応を考えていただければありがたいと思っています。

それから避難所の運営を民間のかたに運営していただくということで対策しているところだと思いますが、その時にやはり重要になってくるのが個人情報をどのように集めるかということではないかと思っているが、医療情報で言えば、お薬手帳などを活用してある程度までわかるが、どのような障がいをお持ちかということまではなかなかわからない。3.11の時も市の持っている障がい者の方の情報を公開してもらうまでにかかなりの時間がかかったと聞いています。災害時において個人情報をどこまで開示してもらえるかということを防災計画の中に明記とまではいかないが、市としての方針を示していただければと思います。

飯田補佐： たくさん提案をいただきましたので、医療救護活動の会議の中でも合わせて検討させていただきます。次回の防災会議で提案できるようにしたいが、そういうことでよろしいでしょうか。

高橋委員： そういう方向でいいと思う。もう一点、要援護者台帳は数年前に制作されたと聞いているが、これは希望された方の名前だけ掲載されているというものなのではないでしょうか。

花村部長： 今先生がおっしゃられたとおり、障がいをお持ちの方や高齢一人暮らしの方などにこちらから情報を地域防災の方や民生委員の方に提供してもいいですかということをお聞きして、いいと言った方の情報しかないということになります。

高橋委員： 南相馬市で問題になったのは、手上げ方式で情報があつた人はいいが、そうでない人がい

っぱいいたということで対策が後手に回ってしまったということが事例として挙がっていますので、なるべく全員台帳に載せていただくか、何か他の方法で情報を挙げていただくというところでお願いしたい。

花村部長： 避難所での医療救護と同じように、避難所を開設した後何日か経つと福祉避難所を開設することになっているが、その時に医療救護所のトリアージと同じように、避難所では生活できない人を福祉避難所に移すような計画を持っているので、先生がおっしゃるようにすべての情報を公開するのは難しいと思うが、ある程度トリアージの時に選別をするということはあるという風に考えています。

宮澤会長： ただいまの意見は、今後事務局で検討して修正を加えられるものについては修正をして内容の充実を図っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

ほかにございますでしょうか。

よろしいでしょうか。では、ご意見・ご質問もないようですので、ここで委員の皆様にお諮りしたいと思います。今回の安曇野市地域防災計画の修正案につきまして、さきほどの意見も踏まえて事務局で検討するところは今後といたしまして、これをもちまして成案とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

ありがとうございました。「異議なし」ということで成案とさせていただきますこととなります。また、ただいま承認をいただきました計画につきましては県に報告をさせていただきますこととなります。以上を持ちまして議題を終了いたします。大変ありがとうございました。

4 その他

宮澤会長： ほかに委員のかたからございますでしょうか。なければ事務局に進行を移しますのでよろしくお願ひいたします。

5 閉会

古幡課長： ありがとうございました。先ほどいただきましたご提案につきましては次回の防災会議までに精査して議題に上げさせていただきたいと思ひます。本日は長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。今後の予定についてご説明いたします。本日、ご承認いただきました安曇野市地域防災計画の修正案については速やかに松本地域振興局総務管理課を通じて県危機管理部から県知事へ報告する予定です。最終的な語句の修正・確認作業を行い、市のホームページに掲載する予定でありますのでご承知をお願ひいたします。

以上を持ちまして、「安曇野市防災会議」を閉会とさせていただきます。委員の皆様におかれましては、今後とも安曇野市の防災行政により一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。